



上下に動く洗面台

車いす利用など、歩行が不自由になった身でこれまで通り自宅で暮らす場合、すぐに必要な改修として思いつくのは、屋内の移動経路の確保、トイレ、浴室などです。段差を解消したり、通路幅を拡幅したりします。あるいは、外出時の不都合を解消するために、玄関回りにも改修が必要になるかもしれません。

こうした中で、あまり重視されていないのが洗面台です。車いす利用の場合、通常の洗面キャビネット前面に車いすが当たってしまいますが、洗面台の高さが問題になります。洗面台の下を取り払ってスペースを確保できても、洗面台の高さが問題になります。洗面台を付け直したとしても、同居家族の利用にはすぐわないので、そのままの洗面台を2つ用意されればいいのですが、スペースや費用の面からそれも難しいとなると、洗面台が昇降する機種が望まれま

車いす利用、立位ともに対応する昇降洗面台。デンマークのフレサリット社製の壁付けレールとアビリティーズ・ケアネット社製の洗面台を組み合わせた「マルチ洗面ブラケットプラス」



基本はストローク30センチの上下動



上げ下げは、横のストップバー付きレバーで行います

昨年9月に東京ビッグサイトで開催されたアジア最大規模の介護・福祉機器展、第40回「国際福祉機器展」（主催＝全国社会福祉協議会・保健福祉広報協会）。16カ国・1地域の585社・団体による最新の福祉機器2万点の中から、そのいくつかを随時ご紹介します。

昇降する洗面台

— 第40回国際福祉機器展から⑦ —

取材協力
アビリティーズ・ケアネット株式会社
電話0120-834490

す。

数あるブースの中で、2つの昇降する洗面台を展示していたのが、アビリティーズ・ケアネット株式会社（本店・東京都）でした。

ひとつは、デンマーク・プレサリット社製の壁付けレールと、アビリティーズ・ケアネット社製の洗面台を組み合わせたモデル（マルチ洗面ブラケットプラス）。壁に取り付けるレール（マルチトラックプラス）を縦か横、または両者の組み合わせも可能なので、上下だけでなく横にも動かすことでもできる造りになっています。レールはがつちりしているものの最小限の大きさで、ものものしさを感じません。上下のストロークは30センチで、ガススプリングで軽く、ゆっくり動きます。

担当者によると、「車いす利用者だけでなく、股関節やひざを曲げにくい人が立位で使うことも想定したデザイン」とのことでした。洗面シンク両脇のたっぷり洗顔する動きを見ていると、車いす利用の有無にかかわらず、小ぶりないすと組み合わせての「着座洗顔」も、なかなか快適なのかもしれません」と感じました。

プレサリット社製と同様の壁付けレールと組み合わせた、トイレ用跳ね上げ手すりも展示されていました（固定も可）。この手すりは、跳ね上げにスプリング



電動昇降式洗面台「まいせるふ」（参考価格31万2900円、水栓金具、排水金具込み）。昇降は床面上65~91センチ。前面左がスイッチ。静かな運転音も特徴

を併用し、ゆっくり動かせます。同種の手すりで、跳ね上げの動きに配慮した製品は初めて目にしました。手すりの先端が緩やかに持ち上がりっているのは、「立ち座りの動作時、握りが滑つても抜けにくいだけではなく、水平よりも握りやすい」とのこと。実際に握つてみると、確かにしつくりります。支えがあればいいのではなく、それを生み出す自然な握りへの目配り

もう一つが、アビリティーズ・ケアネット社製の電動昇降式洗面台「まいせるふ」です。FRP製で軽く、モーター（アクチュエータ）負荷も少ないためか、静かな運転音。「和洋どちらのデザインにも合うように」と選ばれた薄いモスクワーリーンが清潔な印象です。

この洗面台もひじを置いての利用を想定していますが、さらに、洗面台縁のわずかな立ち上がりが、ひじの配慮は、洗面台下の奥にある電動部の防水にも見受けられました。



プレサリット社製の跳ね上げ手すり。取り付け位置を固定するほか、レールとの組み合わせにより、上下、横の移動が可能。手すり先端のグリップ部分は滑りにくいPVC樹脂カバー

電動で静かな昇降

「昇降需要」は案外多いのかも知れません。

高齢化の進展を考えると、洗面台に限らず、従来当たり前ととらえられてきた、暮らしの中での体の動きを見直してみる必要があるのかもしれません。2つの昇降洗面台を眺めながら、そう感じたのでした。

この洗面台もひじを置いて

の利用を想定していますが、さらに、洗面台縁のわずかな立ち上がりが、ひじの配慮は、洗面台下の奥に

「滑り抜け」の予防にもなっています。こうした細かい配慮は、洗面台下の奥に

ある電動部の防水にも見受けられました。

昇降洗面台を2つも展示している点について尋ねると、「お客様の要望が強いこと、なるべく価格を下げたいという社内判断」との答え。同展での反応も高かったです。この背景には、他社を含め、昇降洗面台のラインナップがまだまだ乏しいことがあるようです。

立位いかがむ体勢の使用に限って考えても、身長差などの理由から、潜在的な「昇降需要」は案外多いのかも知れません。